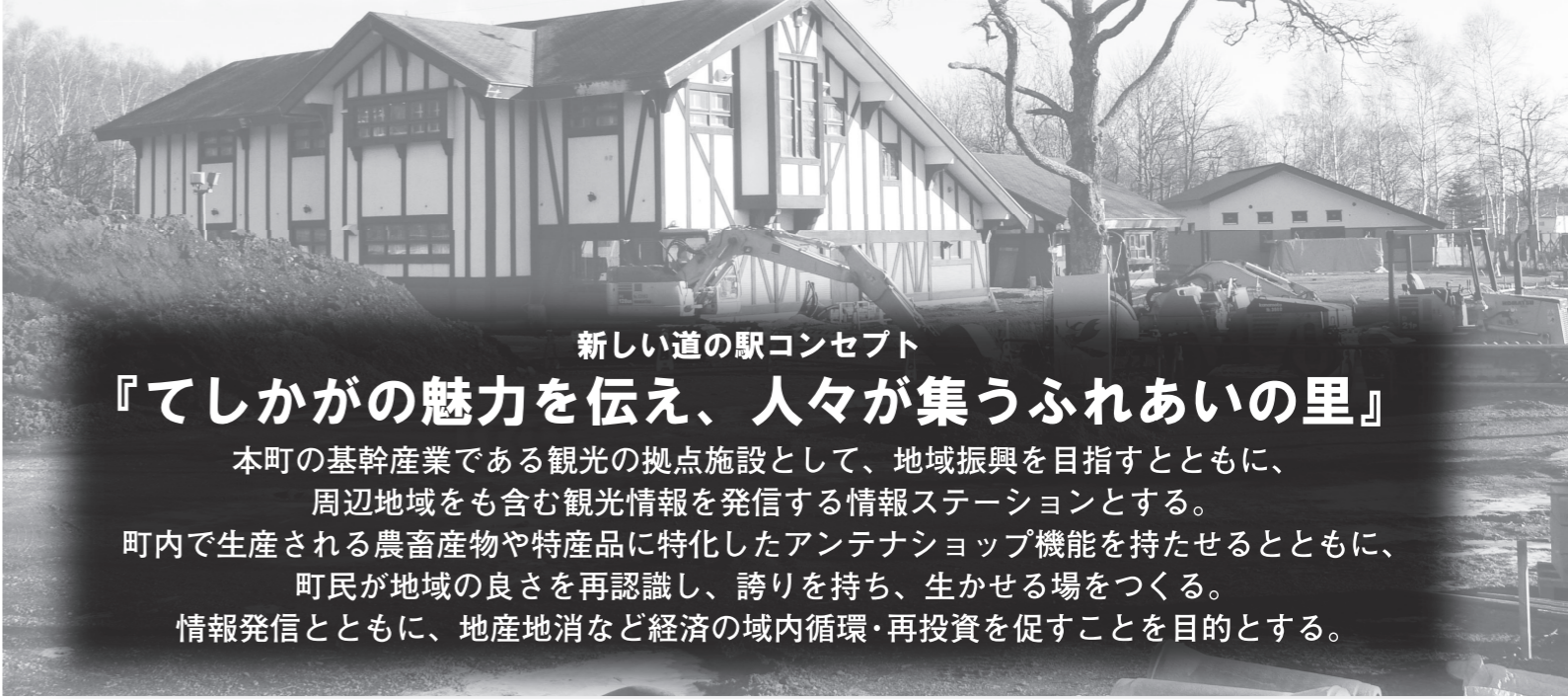


新しい道の駅基本構想

中間とりまとめの概要をお知らせします



新しい道の駅コンセプト

『てしかがの魅力を伝え、人々が集うふれあいの里』

本町の基幹産業である観光の拠点施設として、地域振興を目指すとともに、周辺地域をも含む観光情報を発信する情報ステーションとする。町内で生産される農畜産物や特産品に特化したアンテナショップ機能を持たせるとともに、町民が地域の良さを再認識し、誇りを持ち、生かせる場をつくる。情報発信とともに、地産地消など経済の域内循環・再投資を促すことを目的とする。

一部着工し順次着手

「昨年、町で取得した旧欧羅巴民藝館を、老朽化した現在の道の駅「摩周温泉」の代替施設とする」となり、昨年6月に「道の駅町民検討会」が設立されました。これまで6回の検討委員会を開催してきましたが、この度、基本構想の大まかな概要がまとまりましたのでお知らせします。

検討会や町議会での協議検討を重ね「基本的な考え方」機能などに関する概要がまとまりました。この間、既に外構工事やトイレ棟工事など、順次建設工事が進められています。施設整備については、国土交通省のまちづくり交付金を活用し、観光交流館（仮）道の駅摩周温泉、トイレ、外構などを整備します。

現時点での概算事業費は、全体で約2億8千万円を予定しています。うち最終的な町負担分は7千6百万円で、できるだけ地元負担を少なくするよう心がけたものとなっています。建設スケジュールについては、既に着手していますが、年度内にトイレ棟を完成し、その後、本体の改修工事（耐震工事や内部

改修など）を進め、平成23年7月の完成、オープンを目指します。

「新道の駅」の機能

施設内には観光情報センターや情報モニターを設置し、弟子屈町の観光やイベント情報の発信、交通情報や災害情報の提供を行います。また、道の駅エリア内で、インターネットなどの情報端末が使用できるよう整備します。

①観光情報センターでは、観光案内、宿泊の紹介、近郊の観光情報など交通を含めた総合的な案内を行います。②本町を中心とした着地型旅行（エコツアー、カヌー体験、農業体験など）などの手配にも対応できるツアーデスク機能を併設します。

③情報モニターを活用し、本町の美しい自然や温泉、体験ツアー、町内観光情報などを紹介します。また、道路情報や災害情報の発信と、ライブカメラによる景勝地の状況提供も行います。

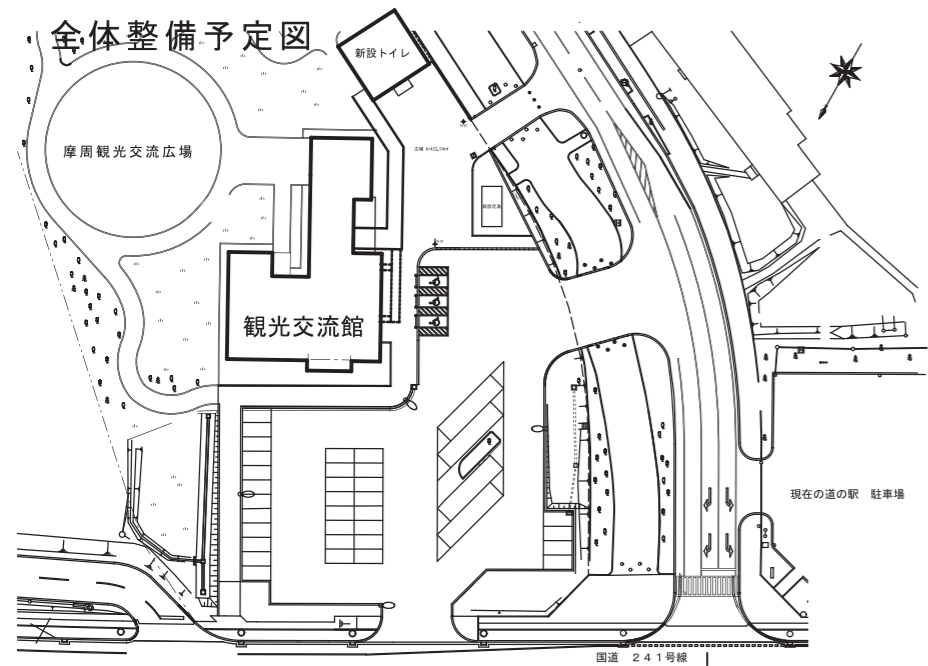
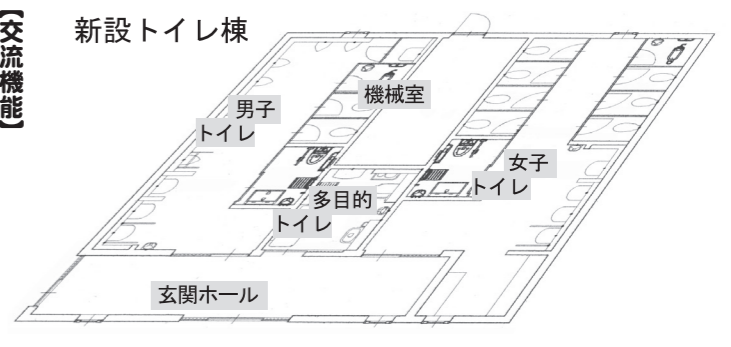
④個々のニーズで自由に情報検索ができるよう、情報端末機（パソコン）を設置します。また、道の駅エリア内でのインターネット使用が可能な無線LANを整備します。

【交流機能】

地域の特色を生かしたイベントや体験工房の開催などを通じて、町民の方と来訪者の方の交流の場を創出し、農産物や地場の原料を使用した特産品、地元食材を活用した加工品や民芸品などのPRを行います。また、地元料飲店の紹介など、来訪者の方に本町のおいしさと隠れた魅力を伝えます。

①農産物の収穫祭や、そば打ち体験町民ギャラリーの開催など、地域と来訪者の方の交流の場を創出します。

②町内在住の写真家や陶芸家、画家などの方々作品や、町所蔵品の展示など、弟子屈町の文化を広く来訪者の方に伝えます。



③物販関係は、地場の原料や地元で生産されたものなど、地元産にこだわった商品の取り扱いに特化した、地場産特産品のアンテナショップとします。

④町内の料飲店から、自慢の二品やお店のセールスポイントを募り、パンフレット「美味しい弟子屈食へ歩きマップ（仮称）」を作成するなど、市街地のPRの場とし、名店街マップの掲示やレンタサイクルの貸し出しによる町内散策など、市街地への誘導を図ります。

また、周辺の水郷公園や湯の島公園などを含めた、二体的な活用方法も検討します。

【休憩機能】

高齢者や障害者の方も安心して利用できる、ユニバーサルデザインに留意した施設や駐車場、敷地内の源泉を活用した足湯など、来訪者に快適な休息の場を提供します。

①駐車場および交流施設内はバリアフリー化に配慮し、障害者の方や高齢者の方にも優しい道の駅とします。

②「道の駅」の基本施設である24時間利用可能なトイレを新設します。トイレは障害者用と併せ、オストメイトの方にも対応した施設を整備するなど、清潔でゆつたりと快適に利用できる施設にします。

③障害者用の駐車場は入り口を正面に配置し、施設入り口からトイレまでの通路には屋根を設け、雨が降っても濡れずに移動できるようにします。

④敷地内にある源泉を活用した足湯を

【そのほかの機能】

1 防災機能
災害時における避難施設としての役割と、災害情報や緊急医療情報など、多様な情報提供ができる施設とします。

2 環境保護
温泉熱を利用した暖房システムや、太陽光発電（ソーラーパネル）を活用した電力創出、省電力の照明を多用した設備など、環境に優しい道の駅とします。

①冬期間の暖房は、全て温泉熱を活用した施設にします。

②トイレの照明などは、ソーラーパネルにより発電された電力を活用します。

③施設内は省電力、長寿命であるLEDなどを多用した照明設備にします。

3 安心安全機能
外国の方も意識した案内標識の整備と、屋外照明の工夫や防犯設備など、交通安全のみならず犯罪も未然に防ぐ仕組みを整備します。

①道の駅への誘導看板は、特色ある分かりやすい看板の設置を要望していきます。

②施設案内表示はユニバーサルデザインに配慮し、ピクトグラムを多用したデザインに。

③道路情報エリアやトイレなどは24時間オープンのため、夜間照明の工夫や監視カメラ、非常通報装置など、犯罪も未然に防ぐ仕組みを整備します。

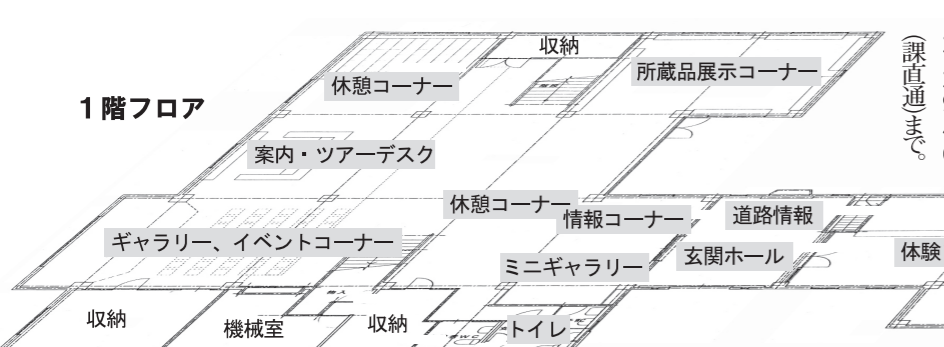
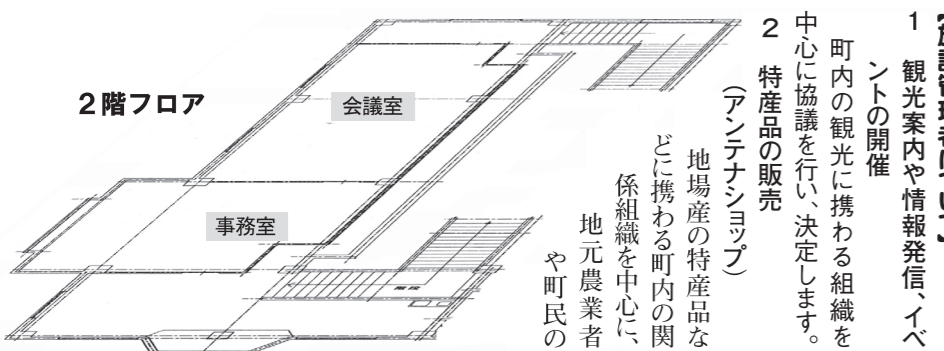
方、商店やサークルなど、広く参加希望者を募り、その方々の自主運営を基本として運営組織を決定します。

なお、今後も、町民検討会や議会などの意見を反映させながら、来年度のオープンを目指します。

□問い合わせ先
／役場観光課
商工課 ☎482-2940
(課直通まで)

1 観光案内や情報発信、イベントの開催
町内の観光に携わる組織を中心に協議を行い、決定します。

2 特産品の販売（アンテナショップ）
地場産の特産品などに携わる町内関係組織を中心に、地元農業者や町民の



※オストメイト…人工肛門・人工膀胱(ぼうこう)の方。
※ピクトグラム…絵文字・絵言葉のこと。図記号の一種。